



マスコットキャラクター
「たねっこ」

種まき通信



第71号 編集・発行：田根地区・地域づくり協議会
2025.4 〒526-0273 長浜市高畑町316-1 TEL 74-1450



在校生に送られる六年生の皆さん

去る二月二十八日、田根小学校において「六年生を送る会」が開催されました。
「六年生ありがとう。感謝の気持ちを含めて、思い出に残る六送会にしよう！」を合言葉に繰り広げられた下級生からのさまざまな出し物からは、六年生に対する尊敬と感謝の気持ちが伝

田根小学校

六年生を送る会！



わってきました。
卒業生の皆さんには、小さな小学校から大きな中学校への進学に伴う環境の変化、いわゆる「中1ギャップ」がありますが、みんなで仲良く助け合って克服してください。



四年生による書道パフォーマンス



六年生の力を借りて、一年生が引き抜く「大きなかぶ」

令和七年度 新自治会長

令和七年度の新しい自治会長さんが決まりました。
一年間、大変お世話になりましたが、よろしく願います。

- ・ 高畑町 速水裕介様
- ・ 力丸町 山口貴之様
- ・ 野田町 藤森政宏様
- ・ 木尾町 速水浩之様
- ・ 上野町 山本義則様
- ・ 小室町 高田幸士様（会長）
- ・ 黒部町 高田久幸様（会計）
- ・ 谷口町 嶋原俊彦様（副会長）
- ・ 北野町 岩坪勝之様
- ・ 池奥町 川西喜義様
- ・ 瓜生町 山口紀幸様
- ・ 田川町 甲野俊治様
- ・ 須賀谷町 大野佐兵衛様

田根の環境（美田）を守る！ 田根地区・農業者連絡会



去る二月二十一日、田根まちづくりセンターで「第二回田根地区・農業者連絡会」を開催しました。

この連絡会は、地域づくり協議会が集落営農をされている農事組合法人と大規模経営をされている中核農家の皆さんに呼びかけ、令和五年十二月に発足しました。

「どうして地域づくり協議会が農業者連絡会の呼びかけを？」という疑問があるかもしれませんが、農地を健全に維持することとは、田根の生活環境を守る上でとても重要な地域づくりだという観点からです。

農地を守ることは、決して農業者だけの問題ではないという想いと同時に、近い将来、農地として守ることが非常に困難な状況が想定されるからでもあります。

昨年からのいわゆる「令和の米騒動」の影響でコメ価格の値上がり率が過去最高と言われています。

ただ農家が潤っているかと言えば、機械や肥料、除草剤、燃料などすべてが高騰していて、実感がないと言います。

また、価格の高騰によりますますコメ離れが加速することもある予想されるなど農業者にとっては心配なことばかりです。



東京大学の学生さん

こうした農業を取り巻く環境は、おそらく全国共通でしょう。そうした農業の現状を知りたいと、当日、東京大学の学生さん四名もオブザーバーとして参加されました。

優秀な彼らは、将来、日本の働き取りをするような職業に就く可能性もあります。机上ではわからない肌感覚の地域事情を感じ取ってもらえたらうれしいです。

2月の子ども学び座の様子

【2月15日】

この日は子ども学び座もりだくさんデー。朝から「囲碁将棋教室」「かるた会」「毛糸でポンポンづくり」、午後に「ポップアップカードづくり」をしました。3学期になると風邪をひいて参加できなかったり大雪の予報が出て延期をしたりしましたが、この日は晴れ。無事に開催できました。



ポップアップカード
この日の講師 赤田先生の作品



まちセン季節の写真（3月12日撮影）



【2月22日 Cooking in English】

英語でクレープ屋さんごっこをしました
「One crepe please」（クレープを一つください）「Yes! No problem! Thank you.（かしこまりました。ありがとう。）などと会話しながらクレープを作りました。

【2月24日 いちごジャム作り体験】

立正大学の学生による企画で、田根地区にかかわる様々な人がたくさん参加しました。わいわいとお話しながら、いちごを収穫してジャムを作り、おいしくいただきました。

たくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございました。



R7年 4月 まちセンカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

赤色が
休館日です

田根まちづくりセンター

開館時間：8時30分～17時15分
（夜間使用がある日は夜間もスタッフ在中）
休館日：月曜、第1・3日曜、祝日、年末年始
〒526-0273 長浜市高畑町316-1
TEL 0749-74-1450
FAX 0749-74-1445
✉ tane-machisen@zc.ztv.ne.jp

気軽に声掛けてください！

堀田雅史の活動報告

3年間ありがとうございました！活動報告最終回です！！



2022年3月から地域おこし協力隊として着任し、2025年2月末をもって3年間の任期を終了しました。3年間無事に終えることが出来たのも、地域の皆様のご理解・ご協力のおかげです。種まき通信をお借りして御礼申し上げます。3年間という期間は長いようで短く、あっという間に過ぎてしまったというのが率直な感想です。

さて、3年間の中で田根に何が出来たかと振り返ってみると、マクロな視点ではあまり影響を与えられなかったように感じる一方、ミクロな部分では小学生と大学生を巻き込み交流したり、田根の若者の留学をアシストしたりと、新しい価値観を提供できたのではないかと考えています。

「体験格差」という言葉があります。都市部と地方では、普段の生活の中で経験の量が違うということです。一般的には若年層に使われる言葉ですが、大人にも当てはまる事柄ではないかと感じています。

私が長浜に移住する前に前職の社長から「都会と地方の一番の違いは、流れる時間の早さだ」と言われました。都市部では、半年前に出来たラーメン屋が潰れ唐揚げ屋になったり、ウーバーイーツでよく注文していたハンバーガー屋が早々に撤退したり・・・一方長浜で過ごした3年間で街並みはあまり変わらず、社長に言われた言葉はこういうことかと思ひ出されます。

あくまで例として挙げた何気ない日常の1コマですが、このような経験・体験が新しい価値観を作り、社会の発展を加速させていくのだと思います。「都会に住む」ことだけが体験格差を埋める術ではありません。旅行に行く、海外に行く、誰かと会う、新しいことに挑戦する。体験したいことへのアクセスが、どんなに簡単になっているのが現代社会です。

今後、田根に住みながら様々な体験の出来るコンテンツを地域へ提供していきたいと思っています。私自身ももっともっと勉強しながら、新しいことに挑戦していく予定です。私の経験が少しでもこの地域に還元できるようにこれからも努めていきます。

最後になりますが、3年間の感謝とともに皆様のご健康とご多幸をお祈りし、私の活動報告を締めさせていただきます。3年間ありがとうございました。

編集後記

2025年3月より、新しい事業をいくつか始めています。まずは、長浜に来る大学生たちが長浜で活躍できる場を作ることです。この3年間で大学生が長浜に来る入口はある程度完成しました。この大学生たちがどのように地域に貢献するか？を考えた時に、長浜にある会社や団体と連携するのがお互いにWIN-WINになるだろうと考えています。幸いなことに既にいくつかのオファーを頂いているので、丁寧に実績を作り上げていきたいと思っています！開業届も提出済みで、私の家にあるシンボリックなアイテムである木製のテーブルをアイコンに「Woodtable」という屋号で活動します。また法人化はしませんが、事業が拡大し必要に応じて法人格の取得も視野に入れていきます。

もう一つが、長浜市の空き家バンクを運営する移住コンシェルジュです。移住希望者と空き家をマッチングする仕事で、長浜市の移住・定住を支援する仕事になります。田根にも空き家バンクに登録していない空き家もまだまだ多い印象を受けますので、もし空き家を所有している方がいましたらぜひ私までご連絡ください！

プロフィール

堀田 雅史 ほった まさし

1986年、埼玉県桶川市で生まれ、群馬県東吾妻町で育ちました。
趣味は、サッカーとフットサルです！

